

研究科の学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)

家政学研究科

(修士課程)

- ・DP1) 家政学について広範な学識を有し、専門分野において高度な専門知識を身に付けている。
- ・DP2) 家政学の社会的役割を意識し、生活に関わる今日的な課題を見出し、それを解決していくことができる。
- ・DP3) 家政学について、高度な専門知識と技能を身に付け、的確な表現力・コミュニケーション力をもって研究成果を発信することができる。
- ・DP4) 家政学の専門知識と技能を生かし、総合的な判断力と創造的な研究能力をもって広く社会に貢献することができる。

文学研究科

(博士課程前期)

- ・DP1) 人文学について広範な学識を有し、専門分野において高度な知識を身に付けている。
- ・DP2) 科学的批判精神と洞察力をもって、人文学に関わる諸問題を深く追求することができる。
- ・DP3) 人文学について、高度に専門的な文献・資料を読み解き、的確な表現力・コミュニケーション力をもって研究成果を発表することができる。
- ・DP4) 人文学の専門知識と技能を生かし、総合的な判断力と創造的な研究能力をもって広く社会に貢献することができる。

(博士課程後期)

- ・DP1) 人文学について広範な学識を有し、専門分野において博士の学位を取得するに足る深い学術的知見を獲得している。
- ・DP2) 博士課程前期で培った調査力・分析力・考察力を更に発展させ、独創的で自立した研究活動ができる。
- ・DP3) 人文学について、高度に専門的な文献・資料を読み解き、的確な表現力・コミュニケーション力をもって研究成果を発表することができる。
- ・DP4) 人文学の専門知識と技能を生かし、総合的な判断力と創造的な研究能力をもって広く社会に貢献することができる。

人間生活学研究科

(博士課程後期)

- ・DP1) 人間の生活に関わることがらについて広範な学識を有し、専門分野において博士の学位を取得するに足る深い学術的知見を獲得している。
- ・DP2) 人間の生活に関わる諸問題について、総合的・学際的な観点から追究することができる。
- ・DP3) 人間の生活について、より高度な専門知識と問題解決能力を身に付け、的確な表現力・コミュニケーション力をもって研究成果を発表することができる。
- ・DP4) 人間生活学の専門知識と技能を生かし、総合的な判断力と創造的な研究能力をもって広く社会に貢献することができる。

人間社会研究科

(博士課程前期)

- ・DP1) 人間と社会に関わることがらについて広範な学識を有し、専門分野において高度な知識を身に付けている。
- ・DP2) 人間と社会に関わる今日的な課題を見出し、国際的・学際的な視点からそれに取り組んでいくことができる。
- ・DP3) 人間と社会に関わる高度に専門的な文献・資料を読み解き、的確な表現力・コミュニケーション力をもって研究成果を発表することができる。
- ・DP4) 各分野の専門知識及び実践的な活動やフィールドワークを通して、広く社会に貢献することができる。

(博士課程後期)

- ・DP1) 人間と社会に関わることがらについて広範な学識を有し、専門分野において博士の学位を取得するに足る深い学術的知見を獲得している。
- ・DP2) 人間と社会に関わる今日的な課題を見出し、国際的・学際的な視点からそれに取り組んでいくことができる。
- ・DP3) 人間と社会に関わることがらについて、高度に専門的な文献・資料を読み解き、的確な表現力・コミュニケーション力をもって研究成果を発表することができる。
- ・DP4) 各分野の専門知識及び実践的な活動やフィールドワークを通して、高度に専門的な技能及び研究の成果によって、広く社会に貢献することができる。

理学研究科

(博士課程前期)

- ・DP1) 総合化、広域化された理学について広範な学識を有し、専門分野において高度な知識を身に付けている。
- ・DP2) 理学の社会的役割を意識しつつ、理学研究を遂行することができる。
- ・DP3) 理学について、より高度な専門知識と問題解決能力を身に付け、的確な表現力・コミュニケーション力をもって研究成果を発表することができる。
- ・DP4) 理学の広範で高度な教養をもった専門的職業人として、広く社会に貢献することができる。

(博士課程後期)

- ・DP1) 総合化、広域化された理学について広範な学識を有し、専門分野において博士の学位を取得するに足る深い学術的知見を獲得している。
- ・DP2) 博士課程前期で培った調査力・分析力・考察力を更に発展させ、自立した研究者として理学研究を遂行することができる。
- ・DP3) 理学について、より高度な専門知識と問題解決能力を身に付け、的確な表現力・コミュニケーション力をもって研究成果を発表することができる。
- ・DP4) 理学の諸分野のより高度な研究成果をもって、専門的職業人として広く社会に貢献することができる。

建築デザイン研究科

(修士課程)

- ・DP1) 建築デザインに関する高度な専門的知識を有する。
- ・DP2) 建築デザインに係る事象を、専門的知識を生かして分析し、研究やデザインとして表現する力を有する。
- ・DP3) 建築デザインにかかわる課題に対し、研究やデザインを通して解決策を専門的に提案できる。

専攻の学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)

児童学専攻

	DP1) 知識・理解	DP2) 思考・判断	DP3) 関心・意欲・態度	DP4) 技能・表現	DP5) その他
学位授与方針 (ディプロマ・ポリシー)	<ul style="list-style-type: none"> 児童学について精深な学識と研究能力を有している。 複合的な視点から、子どもに関わる今日的課題を見出し、それらを解決する方法を提案できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童学の社会的な役割を認識している。 子どもの健全な発達と育成に関する課題を捉え、自らの考えを表現できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもへの深い理解と関心を示し、主体的に児童学を探究し、その成果を社会に還元しようとする態度を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童学に関する専門知識と実践的な技能を身に付けている。豊かな表現力とコミュニケーション力を持って研究の成果を社会に伝えることができる。 	

食物・栄養学専攻

	DP1) 知識・理解	DP2) 思考・判断	DP3) 関心・意欲・態度	DP4) 技能・表現	DP5) その他
学位授与方針 (ディプロマ・ポリシー)	<ul style="list-style-type: none"> 食品、栄養、調理に関わる諸科学に関する高度かつ十分な知識を持ち、それらを問題解決に応用することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 生活や社会といった観点から食に関する様々な問題を捉え、それらの問題点を判断して、解決法を考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 食物が生活や社会に及ぼす影響や効果を理解し、食に関する様々な問題を積極的に解決しようとする姿勢を有する。 	<ul style="list-style-type: none"> 食品、調理、栄養、医学に関する高度な実験技術を身に付けている。 日本語・英語で論理的に記述・発表・討議を行うことができる。 	

住居学専攻

	DP1) 知識・理解	DP2) 思考・判断	DP3) 関心・意欲・態度	DP4) 技能・表現	DP5) その他
学位授与方針 (ディプロマ・ポリシー)	<ul style="list-style-type: none"> 住居・住環境、建築の計画・設計に関わる歴史的・文化的・社会的な専門的知識を身に付けていること。 安全・快適で、持続可能な住環境を実現するための技術的知識を修得していること。 	<ul style="list-style-type: none"> 国際的な視野と生活者の視点から、住居、住環境、建築に関わる諸問題を多角的に捉えることができること。 住居、住環境、建築周辺環境を様々な視点から多角的に理解し、それを住居建築の計画に反映させる能力を有していること。 	<ul style="list-style-type: none"> 住居、住環境、建築の計画・設計に関わる職能を理解し、それに対する倫理観を持っていること。 修得した知識を社会還元する意欲と能力を持っていること。 	<ul style="list-style-type: none"> 住居、住環境、建築に関わるプロジェクトを合理的に遂行することのできる技術・知識を身に付けていること。 住居、住環境、建築に関わる意匠を創造的に構築できるデザイン能力、表現力を修得していること。 	

被服学専攻

	DP1) 知識・理解	DP2) 思考・判断	DP3) 関心・意欲・態度	DP4) 技能・表現	DP5) その他
学位授与方針 (ディプロマ・ポリシー)	<ul style="list-style-type: none"> 被服学に関わる自然科学・人文科学・社会科学分野の高い専門性と深い学識を有する。 	<ul style="list-style-type: none"> 専門的知識を統合して、グローバルな視点から、衣生活上の課題やニーズを発見でき、その解決を図ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 被服が人間生活のQOL向上に及ぼす役割を十分に理解し、研究成果を社会に還元しようとする高邁な意志と実現できる能力を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> 被服に関わる専門家として必要な高度な知識や技術を獲得でき、その成果を社会に還元することができる。 研究成果を日本語や英語により論理的に記述でき、的確な発表や討議を行うことができる。 	

生活経済専攻

	DP1) 知識・理解	DP2) 思考・判断	DP3) 関心・意欲・態度	DP4) 技能・表現	DP5) その他
学位授与方針 (ディプロマ・ポリシー)	<ul style="list-style-type: none"> ・経済学・家政学・政策科学等に関する十分な専門知識を持ち、それらを広範で多様な生活問題の解決に応用することができる。 ・生活そのものが持つ総合性を理解し、経験と理論を発展的に結合させることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・研究者と市民という視点に立って、生活を取りまく現代社会の諸問題と政策課題を追求できる。 ・生活課題の構造を広い視野で多面的・総合的に捉え、自らの見解を形成できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・時代の変動に伴う新しい生活課題を主体的に設定する能力を身に付け、必要な専門知識を高めていく努力をし、問題を解決しようとする姿勢を持つ。 ・研究テーマの社会的意義を自覚し、その成果を地域や社会に還元しようとする態度を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・論理的に研究の構成を組み立て、学術的表記を用いて論文を作成することができる。 ・研究課題に適した調査・分析手法を修得し、活用できる。 ・的確な表現力、コミュニケーション力をもって、研究成果を発表することができる。 	

日本文学専攻 博士課程前期

	DP1) 知識・理解	DP2) 思考・判断	DP3) 関心・意欲・態度	DP4) 技能・表現	DP5) その他
学位授与方針 (ディプロマ・ポリシー)	<ul style="list-style-type: none"> ・日本文学・日本語学及び関連諸学について広範な学識を有し、専門分野において修士の学位を取得するに足る知識を身に付けることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・科学的批判精神と洞察力を持って思考、判断し、日本文学・日本語学及び関連諸学に関わる諸問題を探究することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本文学・日本語学及び関連諸学に深い関心を抱き、その研究に強い意欲を持ち、推進することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本文学・日本語学及び関連諸学について、高度に専門的な文献・資料を読み解き、調査研究能力を身に付け、的確な表現力・コミュニケーション力をもって社会に貢献することができる。 	

日本文学専攻 博士課程後期

	DP1) 知識・理解	DP2) 思考・判断	DP3) 関心・意欲・態度	DP4) 技能・表現	DP5) その他
学位授与方針 (ディプロマ・ポリシー)	<ul style="list-style-type: none"> ・日本文学・日本語学及び関連諸学について広範な学識を有し、専門分野において博士の学位を取得するに足る深い学術的知見を獲得することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・博士課程前期で培った調査力・分析力・考察力を更に発展させ、独創的で自立した研究活動ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・博士課程前期で研究したことへの深い関心を維持し、そのさらなる研究に強い意欲を持ち、推進することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本文学・日本語学及び関連諸学について、高度に専門的な文献・資料を読み解き、的確な表現力・コミュニケーション力をもって学術的な研究成果を発表し、学問の発展に寄与することができる。 	

英文学専攻 博士課程前期

	DP1) 知識・理解	DP2) 思考・判断	DP3) 関心・意欲・態度	DP4) 技能・表現	DP5) その他
学位授与方針 (ディプロマ・ポリシー)	<ul style="list-style-type: none"> ・イギリス文学、イギリス文化研究、アメリカ文学、アメリカ研究、言語・英語研究並びに関連分野にわたって、広範な知識を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・論理的な思考力を持ち、英米を中心とした英語圏の文学、歴史、言語、文化に関わる諸問題を深く追究できる。 ・研究対象を分析するための客観的な判断力と健全な批判精神を備えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・英米を中心とした英語圏の文学、歴史、言語、文化の諸問題について高い関心を有している。 ・高度な英語能力と深い専門知識を生かして、教育現場等で、広く社会に貢献しようとする積極的姿勢を有している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・英語で専門的な資料を読み解き、情報収集を行う能力を持っている。 ・英語論文によって個人の考えを表現し、広く発信する能力を有している。 ・自分の考えを他者に的確に伝えるための論理的思考力と表現力を身に付けている。 	

英文学専攻 博士課程後期

	DP1) 知識・理解	DP2) 思考・判断	DP3) 関心・意欲・態度	DP4) 技能・表現	DP5) その他
学位授与方針 (ディプロマ・ポリシー)	・イギリス文学、イギリス文化研究、アメリカ文学、アメリカ研究、言語・英語研究並びに関連分野における高度で専門的な知識を身に付けている。	・イギリス文学、イギリス文化研究、アメリカ文学、アメリカ研究、言語・英語研究の各専門分野において、自らの思考力・分析力によって独創的な発想を提示することができる。	・英米を中心とした英語圏の文学、歴史、言語、文化の諸問題について、自ら問題提起を行い、それを追究する意欲を持っている。 ・高度な英語能力と深い専門知識を、専門の研究分野の発展に還元しようとする積極的姿勢を有している。	・研究によって到達した独自の考えを、学位論文にまとめる論理的思考力、表現力、英語力を有している。	

史学専攻 博士課程前期

	DP1) 知識・理解	DP2) 思考・判断	DP3) 関心・意欲・態度	DP4) 技能・表現	DP5) その他
学位授与方針 (ディプロマ・ポリシー)	・日本史・東洋史・西洋史及び関連諸分野に関して広範な知識を有し、専門分野において修士の学位を取得するに足る知識を身に付けることができる。	・グローバルな視点と科学的批判精神及び洞察力を持って、日本史・東洋史・西洋史及び関連諸分野を、客観的、論理的・体系的に探求・考察することができる。	・日本史・東洋史・西洋史及び関連諸分野に深い関心を抱き、自身の研究に強い意欲を持ち、粘り強く研究を継続することができる。	・歴史に関わる多様な史料について、情報収集能力、読解力、分析力を身に付けている。 ・的確で豊かな表現力、現代世界の諸事象を歴史的に理解する力、コミュニケーション能力を持ち、自身の考えを発信し、広く社会に貢献することができる。	

史学専攻 博士課程後期

	DP1) 知識・理解	DP2) 思考・判断	DP3) 関心・意欲・態度	DP4) 技能・表現	DP5) その他
学位授与方針 (ディプロマ・ポリシー)	・日本史・東洋史・西洋史及び関連諸分野について、深くかつ広範な学識を有し、博士の学位を取得するに足る学術的知見を獲得することができる。	・博士課程前期で培った調査力・分析力・考察力を更に発展させ、グローバルな視野を持ち、独創的で自立した研究活動ができる。	・博士課程前期で研究したことへの深い関心に基づき、研究活動を継続、維持しようとする強い意欲を持ち、研究を更に深化させることができる。	・日本史・東洋史・西洋史及び関連諸分野について、専門的な史資料を解読し、的確な表現力・コミュニケーション力によって研究成果を発表し、学問の発展に寄与することができる。	

人間発達学専攻

	DP1) 知識・理解	DP2) 思考・判断	DP3) 関心・意欲・態度	DP4) 技能・表現	DP5) その他
学位授与方針 (ディプロマ・ポリシー)	・人間の発達に関わる広い識見を有し、それを自らの問題意識と関わらせることができる。 ・人間発達学において、自分の専門的な分野に関わる深い学識と研究能力を有している。	・人間の発達に関わる今日的な課題を捉え、自らの研究課題として探求することができる。 ・専門的な視点から、自らの専門分野の社会的な役割を見出すことができる。	・人間の発達への深い理解と関心を示し、自分の専門と関わらせながら主体的に研究を深め、その成果を社会に還元しようとする態度を持つ。	・人間発達学に関する専門知識と研究推進のための研究方法を身に付け、豊かな表現力とコミュニケーション能力を持って研究成果を社会に発信することができる。	

生活環境学専攻

	DP1) 知識・理解	DP2) 思考・判断	DP3) 関心・意欲・態度	DP4) 技能・表現	DP5) その他
学位授与方針 (ディプロマ・ポリシー)	<ul style="list-style-type: none"> 生活環境に関わる今日的課題に挑戦でき、研究手法を構築可能とする高度な学識及び創造力を修得する。 	<ul style="list-style-type: none"> 人類にとってかけがえのない地球の問題に向き合い、的確な思考、判断能力を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> 研究対象が人間生活に及ぼす影響や効果を理解し、生活の質の向上と社会貢献に対する高い意識を持っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 研究成果をプレゼンテーションし、研究者間のコミュニケーション力を持つ。 積極的に国内外の学会に参加し、発表できる。 	

社会福祉学専攻 博士課程前期

	DP1) 知識・理解	DP2) 思考・判断	DP3) 関心・意欲・態度	DP4) 技能・表現	DP5) その他
学位授与方針 (ディプロマ・ポリシー)	<ul style="list-style-type: none"> 関連領域も含めた、社会福祉に関する幅広い知識が説明できる。 取り上げた課題に関わる先行研究や実践例等について十分理解し説明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 選択した課題について一貫した論理で説明できる。 参照すべき文献・資料、実践等についての確かな判断が示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 社会福祉が課題とすべき諸問題への真摯な取り組みや解決への意欲が認められる。 	<ul style="list-style-type: none"> 研究者養成においては基礎的な研究方法が会得されている。 高度専門家養成においては、高度な実践スキルを会得している。 	

社会福祉学専攻 博士課程後期

	DP1) 知識・理解	DP2) 思考・判断	DP3) 関心・意欲・態度	DP4) 技能・表現	DP5) その他
学位授与方針 (ディプロマ・ポリシー)	<ul style="list-style-type: none"> 社会福祉学を体系的に説明できる。 取り上げた研究課題について、内外の先行研究を十分理解し自分の研究に位置づけ説明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 研究課題を達成するための一貫した論理思考が示されている。 独自の枠組みや視点が示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 社会福祉学の課題として重要な論点への挑戦が認められる。 	<ul style="list-style-type: none"> 研究方法を十分理解しており、それを研究課題の達成のために駆使できている。 論文作成の技法や表現を身に付けている。 	

教育学専攻 博士課程前期

	DP1) 知識・理解	DP2) 思考・判断	DP3) 関心・意欲・態度	DP4) 技能・表現	DP5) その他
学位授与方針 (ディプロマ・ポリシー)	<ul style="list-style-type: none"> 人間と社会、及び両者の関わりについて、教育学に関する専門性を持って理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 教育に関する様々な事象について、文献研究的、多角的に検討を加え、学識と専門的視野を持って適切な判断を行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 教育に関する諸問題を専門的な視野に立ち分析するための関心・意欲・態度を持つことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 教育研究の方法論を理解し、活用することができる。 	

教育学専攻 博士課程後期

	DP1) 知識・理解	DP2) 思考・判断	DP3) 関心・意欲・態度	DP4) 技能・表現	DP5) その他
学位授与方針 (ディプロマ・ポリシー)	<ul style="list-style-type: none"> 人間と社会、及び両者の関わりについて、教育学に関する高度な専門性と、博士の学位を取得するに足る深い学術的知見を持って理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 教育に関する様々な事象について、文献研究的、多角的に検討を加え、深い学識と高度な専門的視野を持って適切な判断を行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 教育に関する諸問題を高度に専門的な視野に立ち分析するための関心・意欲・態度を持つことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 教育研究の方法論を最新の研究を踏まえて理解し、活用することができる。 	

現代社会論専攻 博士課程前期

	DP1) 知識・理解	DP2) 思考・判断	DP3) 関心・意欲・態度	DP4) 技能・表現	DP5) その他
学位授与方針 (ディプロマ・ポリシー)	<ul style="list-style-type: none"> ・関連領域も含めた現代社会に関わる広範な知識を身に付ける。 ・身に付けた知識の意義や役割について先行研究等について理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自らの考えに基づいた問題解決を行え、問題解決の結果を次に生かすことができる。 ・情報収集や発信等自分の活動がどのような影響を及ぼすか判断できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会科学が課題とすべき諸問題への取り組み状況から意欲・態度を育む。 ・常に課題意識を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・研究者養成においては基礎的な研究方法を獲得し、情報の収集・選択・処理といった一連の活動を利用することができる。 	

現代社会論専攻 博士課程後期

	DP1) 知識・理解	DP2) 思考・判断	DP3) 関心・意欲・態度	DP4) 技能・表現	DP5) その他
学位授与方針 (ディプロマ・ポリシー)	<ul style="list-style-type: none"> ・関連領域も含めた現代社会に関わる体系的な知識と、身に付けた知識の意義や役割について学術的知見を修得している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会科学に関する研究課題に取り組み、理論的技術・知識を有する。 ・独自の研究計画と視点を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会科学が課題とすべき諸問題を高度に展開できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・研究方法を身に付け、研究課題を進展させる能力を有する。 	

心理学専攻 博士課程前期

	DP1) 知識・理解	DP2) 思考・判断	DP3) 関心・意欲・態度	DP4) 技能・表現	DP5) その他
学位授与方針 (ディプロマ・ポリシー)	<ul style="list-style-type: none"> ・人間と社会に関わることがらについて広範な知識を有し、科学的・客観的理論と研究法を修得し、専門家としての実践力がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会機構の複雑化、人間関係の多様化に対応した人間の行動法則や心の構造・機能の解明と判断が行える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・心理学の伝統を正しく受け継ぎ、新しい発展に寄与しうる能力を有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実証的な理論と研究法に立脚した高度なコミュニケーション能力を有し、実践における専門的技法を修得している。更に臨床領域においては臨床心理士第1種指定大学院に相応しい実践力を有している。 	

心理学専攻 博士課程後期

	DP1) 知識・理解	DP2) 思考・判断	DP3) 関心・意欲・態度	DP4) 技能・表現	DP5) その他
学位授与方針 (ディプロマ・ポリシー)	<ul style="list-style-type: none"> ・専門分野において博士の学位を取得するに値する深い学術的知見と技術を修得している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会機構の複雑化、人間関係の多様化に対応した人間の行動法則や心の構造・機能の解明と判断が行える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・心理学の伝統を正しく受け継ぎ、新しい発展に寄与しうる高度な能力を有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実証的な理論と研究法に立脚した高度に専門的なコミュニケーション能力を有し、実践における専門的技法を修得している。 	

相関文化論専攻 博士課程前期

	DP1) 知識・理解	DP2) 思考・判断	DP3) 関心・意欲・態度	DP4) 技能・表現	DP5) その他
学位授与方針 (ディプロマ・ポリシー)	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な文化領域に対する広汎な知識と、研究テーマに関する高度な専門知識を有している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文化の相関性と相対性に立脚した、論理的な思考に基づく、事象の分析と解明ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・従来の学問領域に拘泥しない、新視点の研究を試みている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・綿密な計画を立て、研究に必要な言語を駆使して調査・研究活動を行い、研究成果を論理的にまとめて発表することができる。 	

相関文化論専攻 博士課程後期

	DP1) 知識・理解	DP2) 思考・判断	DP3) 関心・意欲・態度	DP4) 技能・表現	DP5) その他
学位授与方針 (ディプロマ・ポリシー)	・当該分野における最先端の知識を有している。	・多様な事象を融合させた、重層的な視点に基づく研究を行っている。	・オリジナリティのレベルが高い、新分野の学問領域を開拓している。	・研究対象地域の使用言語による研究発表を行い、論文を作成できる。	

数理・物性構造科学専攻 博士課程前期

	DP1) 知識・理解	DP2) 思考・判断	DP3) 関心・意欲・態度	DP4) 技能・表現	DP5) その他
学位授与方針 (ディプロマ・ポリシー)	・当該専門分野の先端的な知識を修得し応用できる。 ・関連分野の幅広い知識を体系的に修得する。	・幅広い視点から多面的に物事を捉えることができ、本質を正確に把握して的確な判断が下せる。 ・修得した知識をもとに当該分野の研究を遂行できる。	・専門分野並びに周辺領域に関しても幅広い興味を有し、自ら進んで学修できる。 ・興味を有する問題に粘り強く取り組める。 ・科学技術の人類への適切な応用を推進できる。	・種々の科学技術を利用し、社会の要求を解決するために創造し表現することができる。 ・情報及び情報技術に関する知識を有し、それらを当該分野に応用できる。	

数理・物性構造科学専攻 博士課程後期

	DP1) 知識・理解	DP2) 思考・判断	DP3) 関心・意欲・態度	DP4) 技能・表現	DP5) その他
学位授与方針 (ディプロマ・ポリシー)	・当該専門分野で独立して研究を遂行するために必要な学術知識と理解力を有する。	・幅広い視点から多面的に物事を捉えることができ、本質を正確に把握して的確な判断が下せ、当該分野の研究を独立して遂行できる。	・専門分野を中心に旺盛な知識欲を有し、興味を有する研究課題に積極的に取り組める。 ・科学技術の人類への適切な応用を推進できる。	・種々の科学技術を利用し、社会の要求を解決するために創造し表現することができる。	

物質・生物機能科学専攻 博士課程前期

	DP1) 知識・理解	DP2) 思考・判断	DP3) 関心・意欲・態度	DP4) 技能・表現	DP5) その他
学位授与方針 (ディプロマ・ポリシー)	・各専門分野における最新の知識を持ち、最先端の研究の意義を正しく理解できる学識を身に付けている。	・各自の学識に基づいて客観的・論理的に自他の研究の評価を行うことができ、自らの研究の進むべき方向を正しく判断できる。	・通常は見逃しがちな些細な現象等にも細心の注意を払い、常に問題意識を持ち、積極的に研究に取り組む姿勢を身に付けている。	・研究の遂行に必要な実験技術を身に付けるとともに、専門分野の情報の入手にも習熟し、また、学会・社会に向かって自らの成果を効果的に発表する能力を身に付けている。	

物質・生物機能科学専攻 博士課程後期

	DP1) 知識・理解	DP2) 思考・判断	DP3) 関心・意欲・態度	DP4) 技能・表現	DP5) その他
学位授与方針 (ディプロマ・ポリシー)	・各専門分野における最新の知識を持ち、最先端の研究の意義を正しく理解・評価できる学識を身に付けている。	・各自の学識に基づいて客観的・論理的に自他の研究の評価を行うことができ、自らの研究の進むべき方向を正しく判断できる。	・自己の専門分野以外の問題にも広く関心を持ち、常に問題意識を持って物事を観察し、積極的に研究に取り組む姿勢を身に付けている。	・研究の遂行に必要な実験技術に習熟するとともに、専門分野の情報の入手にも習熟し、また、学会・社会に向かって自らの成果を効果的に発表する十分な能力を身に付けている。	

建築デザイン専攻（研究科と共通）

- ・ DP1) 建築デザインに関する高度な専門的知識を有する。
- ・ DP2) 建築デザインに係る事象を、専門的知識を生かして分析し、研究やデザインとして表現する力を有する。
- ・ DP3) 建築デザインにかかわる課題に対し、研究やデザインを通して解決策を専門的に提案できる。